

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	自己決定ができず、依存してしまうところがある。	自然に自己決定できるように支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1でゆっくりと聞き取りを行う。 ・一人ひとりの希望に沿った計画を立てる。 	6ヶ月
2	38	一人ひとりの要望を把握していないところがある。	生きがいを持って笑顔で過ごすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・要望を聞き、できる限り応えられるよう支援する。 ・満足感を得られるように支援する。 ・ご家族の協力を得る。 	6ヶ月
3	49	入居者の行きたい所へ行けているのが疑問にあり、また、外出がいつも同じ人ばかりになっている。	外に出る喜びと共にストレス解消を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員での外出や個別で仲の良い方同士の外出を取り入れる。 	6ヶ月
4	21	孤立しないような援助が必要である職員には見えない上下関係がある。	孤立しないで常に関わり合える環境づくりを行なう。	<ul style="list-style-type: none"> ・仲の良い方同士が自然に集まれる環境をつくる。 ・職員が間に入り、コミュニケーション等の橋渡し役になる。 	6ヶ月
5	35	実際に地震を体験し、その時の備えが足りていなかったことがわかった。定期的に訓練は行なっているが不安である。	いつでも対応できるように災害時の備品等の強化を行なう。常にシミュレーションを行い、心構えをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・常に災害時の備品等には注意を払い、不足しているものや賞味期限が切れているものはないかの確認を行なう。定期的な訓練を実施すると共に、ユニットでの話し合いを行なっていく。 ・職員同士、ご入居者への安心できる声かけを行なう。 	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。